

社会教育委員会議6月定例会会議録

平成26年6月17日（火）

201 会議室

出席者 委員 9名

事務局 3名

1 開 会

【議長】雨が強く、先週避難警報があった。これから夏に入るので熱中症等に注意してほしい。

【事務局】市議会にて明星大学の今後、施設予約システム更新に関する質問が出た。放課後子ども教室は今年度から16校中9校の実施となった。

2 報告事項

(1) 放課後子ども教室について (報告資料 1)

【事務局】資料にもとづき説明。

【議長】今後も増える予定はあるか。

【事務局】スタッフの確保や学校との調整等の課題もあるが増やす予定である。

【委員】全校設置に向けて進めたい。

【委員】PTAとの関わり方はどうなっているか。

【事務局】自主的に関わっていただいている学校もある。

【委員】ボランティアの資格・条件はあるか。

【事務局】事前に面接等をするが特にない。

【委員】宿題をやっている子どももいるか。

【事務局】いる。

(2) 平成26年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第1回役員会・
第1回拡大役員会の開催について

(報告資料 2)

ア 日 時 平成26年5月22日（木）午後2時

イ 場 所 あきる野市役所 別館3階 第4会議室

ウ 出席者 議長、随行事務局 1名

【事務局】資料にもとづき説明。

【議長】以前は総会の後に講演があったが、現在は総会のみ。講演会は秋の交流大会で行っている。

(3) 青梅市社会教育委員会議5月定例会会議録について (報告資料 3)

【事務局】資料にもとづき説明。

(4) その他

【委員】第1ブロック研修について確認したところアートプログラム青梅の発表は可能との事だった。来年度、アートプログラム青梅を実施するかについては未定。

3 協議事項

(1) 社会教育関係団体補助金について (協議資料 1)

【事務局】資料にもとづき説明。

【議長】この他に補助対象と考えられる団体はあるか。

【事務局】特にない。

【議長】見直しとは具体的にどういうことか。

【事務局】補助金の使用内容を問われているのではなく、特定の団体が続いている事から見直しの指摘を受けた。実情に応じて考えていきたい。

【委員】数年前に比べ補助金が減っていき、資金が足りない中やりくりしている団体もある。意欲がある団体に対して、財政が厳しいのは承知だが、縮小だけではなく予算措置の見直しを考えた方が良い。

【委員】補助金が減らされた理由は何か。

【事務局】財政の関係で減らされている。

【委員】希望している団体はいるか。

【事務局】特にない。今年度については2団体で検討したい。

(2) 平成26年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1ブロック研修会について (協議資料 2)

【事務局】資料にもとづき説明。

【議長】事例発表のサブテーマを決めたい。次回の定例会で取りまとめをして9月の定例会で最終確認をしたい。

【委員】「みんなで楽しむイベント」「学ぶ」というキーワードを盛り込んだらどうか。

【委員】「機会の提供」は良いと思う。

【委員】青梅のイメージであるレトロな感じが出ると良い。

【委員】新緑祭は緑の多い公園で行っているところが良い。

【委員】「地域資源を活かした」を入れてみてはどうか。

【議長】「地域の資源を活かした生涯学習の取り組み」でどうか。

【委員】少し長いので短くしたい。

【委員】「地域の資源を活かした取り組み」はどうか。

【一同】了承。

(メインテーマ「ともに学んで生きるまち」

サブテーマ「地域の資源を活かした取り組み」)

【議長】事例発表のつなぎや順番はどうするか。

- 【事務局】一つにまとめればつながりはスムーズにできる。
- 【議長】時間は何分くらいで区切るか。
- 【事務局】一つの発表に20分～30分程度と思われる。
- 【議長】全体でみると13時30分から16時くらいになる。食育体験の発表者への打診はどうなったか。
- 【事務局】これから進める予定。
- 【委員】アートプログラムは学生からの説明を入れるか検討中。
- 【議長】1つの事例につき概ね25分程度で考えたい。
- 【委員】研修会は娯楽的な要素はないのか。
- 【議長】アトラクションをやっている自治体はあった。
- 【委員】途中休憩で飲み物は出るのか。
- 【議長】トイレ休憩として考えている。
- 【委員】前は飲み物と紅梅まんじゅうを配っていた。
- 【委員】始まる前に何かアトラクションがあっても良いのではないか。
- 【委員】掌理団体はどうか。
- 【事務局】検討する。
- 【議長】細かい役割分担は次回決めたい。

4 その他

- 【事務局】配布資料の説明。

次回定例会 7月15日（火）